

## 平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査について

（本調査は、全国悉皆調査で第 6 学年児童を対象に 4 月に実施されたもの）

### 1 学力調査に関する結果の概要

#### 【国 語】

- 分かりやすく伝えるための書き方の工夫を捉えることができている。
- 目的や意図に応じて、自分の考えを書く力が身に付いている。
- 適切な文末やふさわしい言葉遣いを捉えることに課題が見られる。
- 漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

#### 【算 数】

- 示された表現方法をもとに、計算の仕方を説明する力が身に付いている。
- 棒グラフから何倍か読み取るなど数量関係領域の理解がよくできている。
- 複数の情報から必要な情報を選択する問題に課題が見られる。

### 2 児童質問紙に関する結果の概要

- 家で自分で計画を立てて勉強する力が身に付いている。
- 地域をよりよくするために自分にできることを考える力が身に付いている。
- 学習したことを日頃の生活の中で活用しようとする意識に課題がある。

### 3 取組についての評価

#### (1) 教科に関する取組

##### ① 効果があった取組

- ・算数科を中心に、自分の考えや振り返りを書く「書く活動」の位置づけ
- ・国語、算数で定着が不十分だった内容の重点指導
- ・4、5、6年生を対象にした、基礎・基本の定着を図る「まえばる寺子屋」の実施

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・「前小スタンダード」を基盤とした学習指導を徹底し、学びの習慣化を定着させる。
- ・算数科の重点単元や「まえばる寺子屋」でコース別学習を行い、基礎・基本の確実な習得と活用力の育成に努める。
- ・さまざまな教科でも表やグラフの読み取りを丁寧に行ったり、複数の資料を関連させたりして、資料活用能力を育てる。

#### (2) 児童質問紙の内容に関する取組

##### ① 効果があった取組

- ・家庭学習の目標を立てさせて取り組む家庭学習ががんばり週間の実施
- ・地域の「人・もの・こと」への愛着を深める生活科・白雲（総合的な学習の時間）の学習の充実

##### ② 今後の学力向上に向けた取組

- ・問題データベースを活用するなど、個に応じた課題を必要に応じて取り入れる。
- ・学習したことを生活場面で活用できるような課題設定を行う。
- ・生活科・白雲（総合的な学習の時間）の学習で、学んだことを活かしまとめ・表現する「発信活動」を取り入れる。